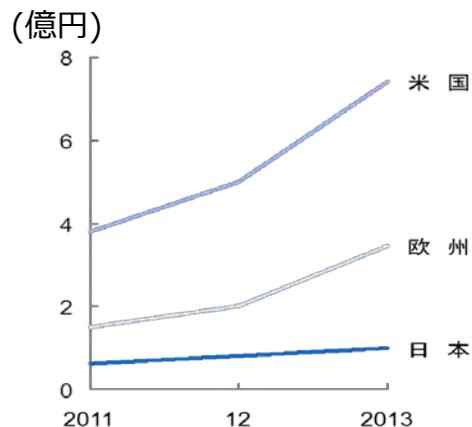


# ③産学連携の促進

- 欧米に比べて我が国の産学連携は低調。
- 多種多様な人材を擁する大学の活用が期待されること、**自動走行分野における産学連携の促進が重要。**

## 自動走行における産学連携の現状



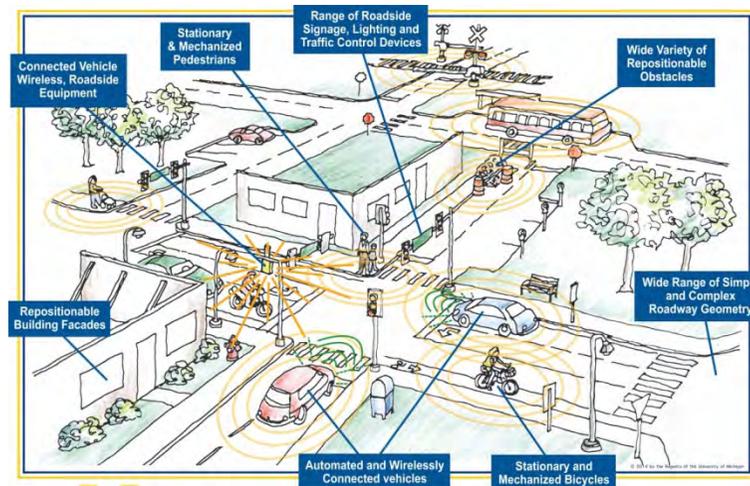
我が国自動車メーカー5社と日米欧の大学・研究機関との共同研究開発費

## 産学連携の促進に向けた課題(例)

- ①産学間の人材交流を促進する仕組みの整備
- ②論文重視の評価から社会貢献重視の評価への転換
- ③産学が共同で活用できる拠点(テストコース等)の整備

参考：米国における産学連携拠点

2015年7月、ミシガン市・ミシガン大学・民間企業が約12億円を出資し、ミシガン大学内に約13万㎡の自動走行専用のテストコース「M city」を整備。



**Mobility Transformation Facility**

(ミシガン大学 HPより)

⇒自動走行システム評価拠点整備事業(15.0億円、2016年度)を活用し、市街路を模した産学が共同で活用できる拠点を日本自動車研究所がつくば市に整備。